

1 単元名

場面をくらべて読もう 教材名 「一つの花」

2 単元について

(1) 教材について

第4学年の「C読むこと」の目標は「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。

本単元は、「C読むこと」の内容ウ「場面の移り変わりや情景を、叙述を基にしながら想像しながら読むこと。」及び内容エ「読み取った内容について自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。」に基づいて、戦争中、戦争後の場面や人物の会話、行動の叙述をもとに、場面の移り変わりを想像しながら読み、読み取った内容について自分の考えをまとめることをねらいとする。

この教材は、戦中から戦後にかけて、時代が大きく移り変わる中で、懸命に生きようとするゆみ子の家族の姿を描いた物語である。この物語の主題は、個人の方では抵抗するすべのない戦争という巨大で過酷な状況の中で生きなければならなかった人たちの悲しみ、その悲しみを乗り越えて生き続ける人間の愛情の強さや美しさであると考えられる。

この物語は、戦争の激しかったところと戦争後の2つの場面で構成されている。「また戦争の激しかったところのことです。」という書き出しは、現在の時点にたつて、そこから、また戦争の激しかったところの、過ぎ去った過去のことを振り返って語っている。お父さんが戦争に行くところでは、今、目の前でゆみ子たちの別れの様子を見ているように語っている。昔のことを思出すように語っているのではなく、その場に居合わせて目撃しているように語っている。そこから語ることで、「それから、10年の年月がすぎました。」となり、現在に至るという形になっている。この物語には、人物の心情を直接表現する言葉がなく、「～のでしょうか。」と問いかけたり、「～のです。」のように強調の「の」が多く使われたりしている。

お父さんが戦争に行くところでは、自分もその時代の中にいるようなイメージで読んだり、「～のでしょうか。」と問いかけられることによって共感的に読んだり、強調の「の」によって印象を強めながら読んだりすることができるようになっている。児童は、これらに引き付けられながらこの物語を読み進めていくであろう。

これらのことから、本教材は、戦争中、戦争後の場面や人物の会話、行動の叙述をもとに、場面の移り変わりを想像しながら読み、読み取った内容について自分の考えをまとめる学習に適した教材である。

(2) 児童の実態

8月に実施した意識調査の結果から、本校で規定している意欲の要素の有能感（「自分もがんばれば課題を解決できる」）においてプラス傾向の割合が59.3%（16名）、マイナス傾向の割合が40.7%（11名）であることが分かった。児童の有能感は、望ましい傾向にあるとはいえない状況である。

児童はこれまでの学習を通して、認知面にかかわっては、作品全体を読み通し内容のあらましをとらえる目的で、場面毎の登場人物の言動や様子、心の動きを表す表現等を見つけ出し書きまとめる活動を行ってきた。また、それらを根拠に、場面毎の課題に対する自分の考えを明らかにしたり、友達と考えを交流し合ったりすることで、場面の様子や登場人物の関係、主人公の変容を考える活動を行ってきた。これらの中で、工夫されている表現を指摘したり、課題を意識して場面や人物の様子を象したりすることができるようになってきているものの、文章の山場や主人公の性格、変容等をとらえ指摘できるまでには至っていない。

情意面にかかわっては、課題に対する手がかりを調べたり、自分の考えを書きまとめたりすることは抵抗なく行うようになってきている。しかし、自分の考えがもてるとそれで満足してしまう児童が多く、進んで考えを広げたり深めたりしようとするまでには至っていない。

「ふりかえり」では、学習の成果と自分の学び方の二つの観点に沿って自己評価し、自分なりに書きまとめることができるようになってきている段階である。

(3) 指導にあたって

本単元の学習を通して、時や場面の設定を、登場人物の言動と関連させながら読むことができる力と自分の経験や考え方と照らし合わせながら文章に対する感想をもつことができる力を身に付け高めさせたい。そのために、次のような手立てを組んで指導を進めていきたい。

見通しをもつ段階では、題名の意味を予想させ、場面毎の登場人物の言動や様子、心の動きを表す表現等を見つけ出し書きまとめる活動をもとに学習課題となる内容を話し合い、詳しく読み進めたいという思いをもたせたい。

この物語は、登場人物の誰もが児童と年齢が離れており、単純に同化して読むことが難しい。また、戦時中の食糧難は言葉でしかとらえられず、ゆみ子の口癖や両親の嘆きがなかなか理解できないことも考えられる。そこで、お父さんが戦争に行く前と行く時の場面や戦争中と戦争後の場面等の二つの場面对比して状況の違いを考えさせながら読み進めさせるようにしたい。

まとめ・ひろげる段階では、調べて分かったことの中から何を中心にみんなに知らせたいかを考えさせ、構成や段落、段落相互の関係を考えさせながら、調べて分かったことや感想を書きまとめさせるようにしたい。

学習の「ふりかえり」では、形式的なものでなく、それぞれの学習内容に応じた振り返りをさせるようにしたい。また、一人一人に応じた朱書きを行い、学習の成果や学び方にかかわる価値付けをし、有能感を高めさせたい。

3 単元の目標

(1) 到達目標 (評価規準)

【関心・意欲・態度】

戦争中の暮らしや人々の思いに関心を持ち、進んで物語や戦争中の暮らしが分かる資料を読んで、自分の考えを深めようとする。

【読むこと】

戦争中、戦争後の場面やゆみ子の家族の会話、行動の叙述をもとに、場面の移り変わりを想像しながら読むことができる。

【言語事項】

漢字 (新出漢字22字、読み方が新しい漢字8字、3年生で習った漢字4字) や言葉 (ダッシュ) の意味、使い方を知る。

(2) 身に付けさせたい力

ア 前單元までの学習 (既習内容) をもとに、引き続き高めさせたい力

- ①ある程度長い文章でも、最後まで読み通すこと
- ②文章の山場や登場人物の変容等を指摘できること

イ 本単元で身に付け高めさせたい力

- ①時や場面の設定を、登場人物の行動と関連させながら読むことができること
- ②自分の経験や考え方と照らし合わせながら文章に対する感想をもつことができること
- ③自分や人との感じ方の違いを意識すること

4 単元の指導計画 (12時間)

皆	時	学習内容と主な言語活動	身に付けさせたい力	評価規準		
				関・意・態	読むこと	言語事項
見通しをせしめる	1	◎全文を読み、初めの感想を話し合う。 ①新出漢字、読み方が新しい漢字の学習をする。 ②題名の意味を予想し、観点に沿って初めの感想を書く。	ア①	題名の意味を予想したり、観点に沿って初めの感想を書いたりして		新出漢字や読み方や新しい漢字の読み方を理解している。
	1	◎初発の感想をもとに学習課題となる内容や学習の進め方を話し合う。 ①新出漢字、読み方が新しい漢字の学習をする。 ②観点に沿って初発の感想を発表し合い、学習課題となる内容を話し合う。 ③この単元で自分が学習したいことを書きまとめる。	ア② イ③	観点に沿って初発の感想を発表したり、この単元で自分が学習したいことを書きまとめている。		新出漢字や読み方や新しい漢字の読み方を理解している。
課題解決を促す	1	◎ゆみこは、どうして「一つだけちょうだい。」という言葉をもとに、初めて覚えたのかを読み取る。 ①戦争中の社会の様子やゆみ子の母の言動に着目し、課題に対する考えを書きまとめる。 ②書きまとめたものをもとに、ゆみこに対するイメージを話し合う。 ③どうして「一つだけちょうだい。」という言葉をもとに、初めて覚えたのかを、「まだ戦争のおぼしかったころ」の描写や母の言動を盛り込みながら書きまとめる。	ア② イ①	課題について読み取ろうとしたり、読み取ったことをもとに自分の考えを話したり、書きまとめたりしようとしている。	ゆみこがどうして「一つだけちょうだい」という言葉をもとに、初めて覚えたのか、「まだ戦争のおぼしかったころ」の描写や母の言動をもとに読み取った自分の考えを、話したり書きまとめたりしている。	
	1	◎お父さんは、どうしてゆみ子をめちゃくちゃに高い高いするのかを読み取る。 ①父の言動に着目し、課題に対する答えを書きまとめる。 ②書きまとめたものをもとに、ゆみ子をめちゃくちゃに高い高いする父について話し合う。 ③どうしてゆみ子をめちゃくちゃに高い高いするのかを、父の言動を盛り込みながら書きまとめる。	ア② イ①	課題について読み取ろうとしたり、読み取ったことをもとに自分の考えを話したり、書きまとめたりしようとしている。	お父さんがどうしてゆみ子をめちゃくちゃに高い高いするのかが、父の言動をもとに読み取った自分の考えを、話したり書きまとめたりしている。	
	1	◎お母さんは、どうしてゆみ子におにぎりを全部食べさせたのかを読み取る。 ①「大事なお米で作った」という言葉やプラットホームでのお父さんの様子に着目し、課題に対する答えを書きまとめる。 ②書きまとめたものをもとに、ゆみ子におにぎりを全部食べさせた母について話し合う。 ③どうしてゆみ子におにぎりを全部食べさせたのかを、「大事なお米で作った」という言葉やプラットホームでのお父さんの様子等を盛り込みながら書きまとめる。	ア② イ①	課題について読み取ろうとしたり、読み取ったことをもとに自分の考えを話したり、書きまとめたりしようとしている。	お母さんがどうしてゆみ子におにぎりを全部食べさせたのか、母の言動をもとに読み取った自分の考えを、話したり書きまとめたりしている。	
	1 (本時)	◎お父さんは、どうしてコスモスの花をあげたのかを読み取る。 ①父や母の言動に着目し、課題に対する答えを書きまとめる。 ②書きまとめたものをもとに、一輪のコスモスの花をゆみ子に渡し、喜ぶゆみ子を見て安心したように汽車に乗って行ってしまった父について話し合う。 ③どうしてコスモスの花をあげたのかを、父の言動を盛り込みながら書きまとめる。	ア② イ①	課題について読み取ろうとしたり、読み取ったことをもとに自分の考えを話したり、書きまとめたりしようとしている。	お父さんがどうしてゆみ子にコスモスの花をあげたのか、父の言動をもとに読み取った自分の考えを、話したり書きまとめたりしている。	

	1	◎ゆみこは、どうして小さなお母さんになってお昼を作るのかを読み取る。 ①戦争後のゆみ子たちの生活の様子やゆみ子の言動に着目し、課題に対する考えを書きまとめる。 ②書きまとめたものをもとに、ゆみ子の母はゆみ子をどのように育てたのか、ゆみ子はどんな子に育ったか、話し合う。 ③どうしてゆみ子が小さなお母さんになってお昼を作るのかを、「戦争後の様子」の描写を盛り込みながら、ゆみ子のことをどう思うか書きまとめる。	ア-② イ-①	課題について読み取ろうとしたり、読み取ったことをもとに自分の考えを話したり、書きまとめたりしようとしている。	ゆみ子がどうして小さなお母さんになってお昼を作るのか、「戦争後の様子」の描写をもとに読み取った自分の考えを、話したり書きまとめたりしている。
	1	◎一つの花という題名がついたのはなぜなのか話し合う。 ①父が「一つ」と口にする2つの場面に着目し、課題に対する考えを書きまとめる。 ②書きまとめたものをもとに、「一つ」のもつ意味を考えながら題名について話し合う。 ③「一つ」のもつ意味を盛り込みながら、「一つの花」という題名の意味について書きまとめる。	ア-② イ-①③	「一つ」のもつ意味を考えようとしたり、「一つの花」という題名の意味について考えたことを話したり書きまとめたりしようとしている。	「一つ」のもつ意味を考え、「一つの花」という題名の意味について考えたことを話したり書きまとめたりしている。
第二次 振り返り・学び	2	◎戦争中の暮らしを書いた物語や資料を選んで読み、戦争中の暮らしについて調べる。 ①今の自分たちの暮らしと比べて、戦争中の暮らしについて疑問に思ったことやもっと知りたいことを見つけ出す。 ②作者のほかの作品や戦争中のことを書いた物語、資料を読んで、戦争中の暮らしについて調べる。 ③調べて分かったことをメモにまとめる。	ア-① イ-②	戦争中の暮らしについて疑問に思ったことやもっと知りたいことを見つけ出し、他の物語や資料を読んで戦争中の暮らしについて調べようとしたり、分かったことをメモにまとめたりしようとしている。	戦争中の暮らしについて疑問に思ったことやもっと知りたいことを見つけ出し、他の物語や資料を読んで戦争中の暮らしについて調べ、分かったことをメモにまとめている。
	1	◎戦争中の暮らしと今の暮らしを対比して、「一つの花」のゆみ子たちの願いや思いについての感想をまとめる。 ①調べて分かったことの中から何を中心にみんなに知らせたいかを決め、構成を考える。 ②段落や段落相互の関係を考えながら、調べて分かったことや感想を書きまとめる。 ③みんなに知らせたいことがしっかりとまとめられているか振り返る。	イ-②③	「一つの花」のゆみ子たちの願いや思いについて、みんなに知らせたいことは何かを決めたり、調べて分かったことや感想を書きまとめたり、書きまとめたことを振り返ったりしようとしている。	「一つの花」のゆみ子たちの願いや思いについて、みんなに知らせたいことがよく伝わるよう段落や段落相互の関係を考えながら、調べて分かったことや感想を書きまとめている。
第四次 振り返る	1	◎まとめた感想を読み合い、互いにどんな点がよいか評価し合う。 ○言葉や漢字の学習をする。 ①友達が知らせたいことは何か、書き方や内容でよいところはどこかを考えながら、感想を読み合う。 ②慣用句の使い方や新出漢字の確認をする。 ③単元を通しての学習を振り返る。	イ-②③	友達が知らせたいことは何か、書き方や内容でよいところはどこかを考えながら感想を読み合ったりと、単元の学習を振り返ろうとしている。	慣用句の使い方や新出漢字の読み方、書き方や読み方や新しい漢字の読み方を理解している。

5. 本時の指導

(1) 到達目標 (評価規準)

【関心・意欲・態度】

泣き出したゆみ子に、父が一輪のコスモスをあげた場面の様子や、そのコスモスに込めた父の思いを想像し、進んで自分の考えを話したり、一人まとめや「ふりかえり」に書きまとめたりしている。

【読むこと】

父(や母)の言動と関連させながら父のおかれた状況を読み取り、一輪のコスモスには父の万感の思いが込められていることを想像し、自分の考えを書きまとめることができる。

(2) 授業仮説

・ゆみ子が泣き出す前後の父(や母)の言動に着目して、戦争に行かなければならない父の状況や思いを考えさせれば、一輪のコスモスには、父の万感の思いが込められていることを理解するであろう。(認知面)

(3) 指導にあたって

認知面においては、本時の学習場面が四つの場面の移り変わりになっていることを確認し、そのことをもとにして手がかりの言葉を見つけ出させたい。また、お父さんの様子が変わったところも押さえさせ、課題に対する答えを考えさせるようにしたい。

情意面においては、「課題が解決できた」、「考えが深まった」、「もっと詳しく分かった」など、本時の学習の成果をしっかりと確認した上で「ふりかえり」をまとめさせるようにしたい。

	A: 十分満足	B: 概ね満足	C: 努力を要する
関心・意欲・態度	<p>「お父さんは、どうしてゆみ子にコスモスをあげたのか」という課題に興味・関心もち・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泣き出したゆみ子に、父が一輪のコスモスをあげた場面の様子や、そのコスモスに込めた父の思いを想像しようと、自分から大事な語句や文を複数見つけ出している。 ・友達のことをよく聞きながら、積極的に自分の考えを話している。 ・与えられた時間全て使って、一人まとめや「ふりかえり」に書きまとめている。 	<p>「お父さんは、どうしてゆみ子にコスモスをあげたのか」という課題に興味・関心もち・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事な語句や文を見つげ出そうとしている。 ・友達のことを聞いたり、自分の考えを話したりしている。 ・課題に対する自分の考えを、一人まとめや「ふりかえり」に書きまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大事な語句や文を見つげ出そうとしていない。 ・課題に対する自分の考えを、一人まとめや「ふりかえり」に書きまとめるようしていない。 <p>※コスモスの情景描写と「お父さん」の言動</p> <p>・プラットホームの～コスモスの花</p> <p>・「～さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花大事にするんだよう。」</p> <p>に着目させ、助言をする。</p>
	<p>・机間巡視や学び合いの様子の観察により把握する。</p>		
読み取り	<p>父（や母）の言動や様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・～プラットホームの～コスモスの花 ・一輪のコスモスの花 ・「～さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花大事にするんだよう。」 ・～それを見てにっこり笑うと、何も言わず～。 ・～一つの花を見つめながら～。 <p>を的確に押さえながら、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争には行きたくないが行かなければならないという思い ・いよいよお別れだという思い ・お母さんとゆみ子のことが心配だという思い <p>等、父の置かれた状況や思いと、コスモスの映っている情景を想像し、そのコスモスの意味を関連付けながらとらえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆみ子にあげられる最後のものかもしれないという思い ・ゆみ子、頑張るんだよという思い ・お母さん、ゆみ子を頼むという思い ・お母さんとゆみ子がいつまでも元気でいてほしいという願い <p>等、一輪のコスモスには父の万感の思いや願いが込められていることを関連付けながら、自分の言葉で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一人まとめ」に書きまとめている。 ・学び合いで話している。 ・「ふりかえり」に書きまとめている。 	<p>父（や母）の言動や様子、コスモスの情景描写</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなおやりよ、～おにぎりを～」 ・「～、いいわねえ。～ばんざあいつて。」 ・～プラットホームの～コスモスの花 ・一輪のコスモスの花 ・「～さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花大事にするんだよう。」 ・～それを見てにっこり笑うと、何も言わず～。 ・～一つの花を見つめながら～。 <p>のいずれかを押さえて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争に行く生きて帰れない。だからゆみ子と笑顔で別れたい、ゆみ子を泣き止ませたい。 <p>といった直観の動機をとらえたうえで、コスモスには、父の思いや願いが込められていることを</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一人まとめ」に書きまとめている。 ・学び合いで話している。 ・「ふりかえり」に書きまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父（や母）の言動や様子を押さえることができていない。 ・父の置かれた状況や思いをとらえることができなかったり、一輪のコスモスに込められた父の万感の思いをとらえることができなかったりしている。 <p>※コスモスの相に着目させるために</p> <p>・プラットホームの～コスモスの花をノートに複写させる。</p> <p>※父の言動をおさえさせるために</p> <p>・「～さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花大事にするんだよう。」をノートに複写させる。</p> <p>※前時までの学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そんなとき～高い高いするのでした。 ・～ゆみ子の泣き顔を見せたくなかった～。 ・まるで、戦争なんかに行く人ではないかのように。 <p>を確認する。</p> <p>※お父さんが戦争に行くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命がなくなるかもしれない ・2度と会えないかもしれない ・ゆみ子とお母さんがどうなるか <p>等、予想されることを考えさせ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆみ子、頑張るんだよという思い ・お母さん、ゆみ子を頼むという思い ・お母さんとゆみ子がいつまでも元気でいてほしいという願い <p>コスモスに込めたお父さんの思いや願いに迫らせる。</p>
	<p>①机間巡視や学び合いの様子の観察により把握する。</p> <p>②授業後にノートの記述内容より確認する。</p>		

(4) 展開

前時の学習	<p>○学習内容 お母さんは、どうしてゆみ子におにぎりを全部食べさせたのかを読み取る。</p> <p>○言語活動 ①「大事なお米で作った」という言葉やプラットフォームでのお父さんの様子に着目し、課題に対する答えを書きまとめる。 ②書きまとめたものをもとに、ゆみ子におにぎりを全部食べさせた母について話し合う。 ③どうしてゆみ子におにぎりを全部食べさせたのかを、「大事なお米で作った」という言葉やプラットフォームでのお父さんの様子等を盛り込みながら書きまとめる。ゆみ子におにぎりを全部食べさせたゆみ子の母について話し合う。</p>			
段階	学習活動	教師の働きかけ (○主発問)	予想される児童の反応	指導上の留意点 (★評価)
導入 (2)	1 本時の学習課題を確かめる。	・今日の学習課題を確かめる。	・お父さんが、汽車の乗って行ってしまう場面 ※3の場面の後半 (P9L12~P12L1)	
展開 (36)	<p>2 課題解決の見通しをもつ。 (1) 課題解決の手がかりを確かめる。 (2) 学習場面を読む。</p> <p>3 課題を解決する。 (1) 一人調べをする。 (1) 一人まとめをする。 (3) 学び合いをする。</p>	<p>・課題を解決するために、コスモスのことが書いてある部分とコスモスをあげた訳が分かる部分を見つけるよう指示する。</p> <p>・学習場面を音読させる中で、手がかりを確かめさせる。 ※コスモスのことが書かれている部分 ※訳が分かる部分</p> <p>・手がかりを抜き書きしたり、分かったことを書き込んだりしながら調べさせる。 ・手がかりの言葉をもとに、課題についての自分の考えを理由もつけてまとめさせる。 ・調べて考えたことを話し合わせる。</p> <p>●どうして泣き顔を見たくなかったのだろう。</p> <p>○どうしてコスモスをあげたのだろう。</p> <p>○どうして「～大事にするんだよう。」と言ったのだろう。</p> <p>●「一。」のところは、心の中で何と言っているのだろう。</p>	<p>①ゆみ子が泣き出した場面 ②お父さんがコスモスを見つけ、その一輪のコスモスを持ってきてゆみ子にあげた場面 ③お父さんが汽車に乗って行ってしまった場面</p> <p>・サイドラインを引きながら読む。(役割のない部分)</p> <p>ア プラットホームのはしっほの～コスモスの花 イ 「～さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花大事にするんだよう。」 ウ その他の部分 (※前の場面)</p> <p>○○や○○という言葉から、お父さんは～だからコスモスをあげたと思う。</p> <p>・戦争に行くとき生きて帰れないかもしれない。 ・最後の別れになるかもしれない。 ・笑顔でお別れしたい。</p> <p>・コスモスが咲いていたから。 ・コスモスの他には、ゆみ子のきげんをなおせるものがなかったから。 ・コスモスの花を見つけ、心に感じるものがあつたから。 ・お父さんがゆみ子にあげられる最後のものかもしれないから。 ・お父さんの思いを大事にしてほしいから。</p> <p>・いつまでもお母さんと元気でいてほしい。 ・ゆみ子、がんばるんだよ。 ・お母さん、ゆみ子を頼むよ。</p>	<p>※3つの場面展開になっていることを考慮にいれさせる。</p> <p>・交代読みで学習場面を音読させる。</p> <p>・前の場面の学習と結びつけて考えることも必要であることを確認する。</p> <p>・手がかりを見つけれない児童には、アとイをノートに記述させ、それらをもとに考えるよう助言する。</p> <p>★ア【関・意・態】 ・根拠を明確にしてまとめさせる。</p> <p>★イ【関・意・態】【読】 ・友達との考えの相違を考えさせながら、自分の考えを話させる。</p> <p>・コスモスをあげた直接の動機とともに、コスモスに込めた思いや願いがあることを理解させる。</p> <p>※2の場面の父の言葉にも目を向けさせる。</p> <p>・②と③の場面の一斉音読</p> <p>★ウ【関・意・態】【読】</p>
終末 (7)	4 学習を振り返る。 5 次時の学習を確かめる。	<p>・今日勉強して分かったことと自分の学習の仕方を振り返ってノートにまとめさせる。</p> <p>・「小さなお母さんになってお昼を作るようになった『ゆみこ』について考えていくことを確認する。</p>	<p>◎初めは、「泣き出したゆみ子のきげんをなおしたかったから」と考えていたが、「ゆみ子、がんばるんだよ。」という思いを込めて渡したことが分かった。</p> <p>◎「いつまでもお母さんと元気でいてほしい。」という思いを込めて渡したことが分かった。</p> <p>◎大喜びしているゆみ子を見て、お父さんは安心したような気持ちになったことが分かった。友達の見聞も参考にしながら、自分の考えも出すことができた。</p>	<p>・コスモスに込めた思いをとらえたか</p> <p>★エ【関・意・態】【読】</p> <p>★ア…観察(手がかりを見つけれない児童のチェックと助言) ★イ…観察(A評面)と思えおける児童のチェック)授業後全員のノートのチェック ★ウ…観察(A評面)と思えおける児童のチェック) ★エ…観察(まとめられない児童のチェックと助言)授業後全員のノートのチェック</p>
次時の学習	<p>○学習内容 ゆみこは、どうして小さなお母さんになってお昼を作るのかを読み取る。</p> <p>○言語活動 ①戦争後のゆみ子たちの生活の様子やゆみ子の言動に着目し、課題に対する考えを書きまとめる。 ②書きまとめたものをもとに、ゆみ子の母はゆみ子をどのように育てたのか、ゆみ子はどんな子に育ったか、話し合う。 ③どうしてゆみ子が小さなお母さんになってお昼を作るのかを、「戦争後の様子」の描写を盛り込みながら、ゆみ子のことをどう思うか書きまとめる。</p>			

(5) 板書計画

一つの花

お父さんは、とうとうゆみ子にコスモスをあげたのだらう。

いよいよ汽車が入って、ゆみ子は、お別れ。

「お父さん、お母さん、お別れ。お父さん、お母さん、お別れ。お父さん、お母さん、お別れ。」

お別れ

お母さん

ゆみ子

お父さん

一つのコスモスの花

お父さん、お母さん、お別れ。お父さん、お母さん、お別れ。お父さん、お母さん、お別れ。

「お父さん、お母さん、お別れ。お父さん、お母さん、お別れ。お父さん、お母さん、お別れ。」

お父さんは、とうとうゆみ子にコスモスをあげたのだらう。

いよいよ汽車が入って、ゆみ子は、お別れ。

お父さん、お母さん、お別れ。お父さん、お母さん、お別れ。お父さん、お母さん、お別れ。